

グループ名	C	記録者	松尾 優績 (草田)
研究テーマ	みんなが楽しむあいご会にするにはどうしたらよいか		
サブ テーマ	A	あいご会活動のプログラムをどう計画したらよいか	
	(B)	あいご会の楽しさをどう伝えたらよいか。	
	C	あいご会役員としてどう関わったらよいか	

記 録

役員は何かいいヒントになれば → B

- ・ 3つ大きいイベントのくり返しにならざることを、子どもたちが喜んでくれる小規模で「出ないといけない」保護者と子ども 同い子に参加。
減らせばいい?

① 子どもだけじゃなく大人も楽しむ
② リポートしてもらう
↓
人が少なくて

- ・ 大人も楽しんで 地域みんな楽しむもの
人とのつながりの欠けしている。

- ・ おせびの会 2部制と一緒に。地域に集まる子は全員あるいは会員。
行事の時は協働体制。 地域 ↓ 大人が楽しむ行事
大人が楽しむになると子どもも楽しむ。 ↓ 子どもの大人と関わる本聚会

- ・ 市に住む大人全員があいご会役員。
役員の手が重たく X → 地域にいる大人と協力 楽しいものにする。
昔の話をしてくれ人も若い人に登壇に参加

あいご会だけ X
おせびと一緒に。

- ・ スタンプラリー、外部を呼んでイベント。
保護者に連絡 → 子どもまで行かない...

ポスターを子どもが作る。

- ・ 1番大きい町内会 → あいご会。
お金が原因。おせびの会と一緒にやることない。
「楽しんで帰る」 役員はおせびと連携
最初任命式をしてイベントを子どもが考える

市のロウ大会はどうなのかな?
あいごの優待者、地域部あいご
先生にお願、子ども29
おせびの会
参加者
各町内会やPTA

中学校 → ポスターをくばる

他の小学校と協力。

※ グループ協議を行ったサブテーマに○をつけてください。

- ・ ニュースポットをして売場にあいごに。
ポスターにQRコードを貼ることで参加者増。
↳ YouTubeのリンク